



More Jobs  
Better Lives

# 年次報告書

## 2022

2021/8/1-2022/7/31

More Jobs Better Lives  
公益財団法人





目次	• • • • 1
MJBLの「原点」	
設立趣旨	• • • • 2
ミッション	
summit	• • • • 3
MJBLの「事業」	
事業分野／事業概要	• • • • 4
外国人留学生 支援事業	• • • • 5
外国人技能実習生 支援事業	• • • • 8
外国人技能実習生 受入農家支援事業	• • • • 11
外国人留学生支援事業の仕組み	• • • • 12
外国人技能実習生支援事業の仕組み	• • • • 13
受入農家 支援事業の仕組み	• • • • 14
新事業：事業者支援	• • • • 15
MJBLの「軌跡」	• • • • 16
法人概要	• • • • 17
最後に	• • • • 18

## MJBLの「原点」

## 雇用の力で、世界中の人々に豊かな暮らしを

## 設立趣旨

2015年4月25日、ネパールカトマンズでM8の街を崩壊する大地震が起きました。その時、僕たちはエベレスト中腹の6400m地点アドバンスドベースキャンプにいました。エベレスト登山を目指す僕をサポートするシェルパは総勢13名、そのそれに家庭があります。

エベレストを含むヒマラヤ登山は2ヶ月程の長いキャンプのため、食料などを運び込むシェルパの存在が欠かせません。彼らと寝食を共にする長期キャンプは、言わば家族のような関係を築きます。カトマンズで起きた地震は、そのシェルパの人たちの生活を例外なく変えました。その大惨事の中、これまでお世話になったシェルパを含むネパールの人たちに自分たちができる事はないだろうか。考えた挙句、ネパールでの起業を通じてネパールに仕事を作ろうと言うことになったのです。

ネパールは、1日2ドル未満で生活する人の割合が70%を超えるアジア最貧国です。上は中国、下はインドの大國に挟まれ、国土のほとんどが山間部で、貿易に重要な港はありません。また、計画停電しなければ成り立たないような状態です。そのため、事業プランは、商業、工業では現実味が無く、農業や林業など現地ですぐに行えるものに限定されました。一方、事業の唯一の活路は、中国、インドの大國に挟まれた立地故に、ネパールには世界各国の大使館の数が多いということでした。各國の大使館などで働く一定の所得がある人たちに買ってもらえるものは何だろうか？ネパールの地で作り、ネパールにいる外国人に売れる農作物は？出した結論は、「日本産のイチゴをネパールで作り、それを現地の外国人など高所得者に販売する。」ということでした。

日本に帰国後、開発特許の切れたイチゴの苗を3000本買い付け、空輸してたら枯れてしまうので、120リットルのスーツケース2つにいっぱいに詰め込んでハンドキャリーしました。それを山間部にあるカカニ村の農民たちに無償で配りました。彼らにお願いした条件は一つだけ、受け取ったイチゴをきちんと育てる事。育ったイチゴは僕たちが1キロ300ルピーで必ず買い取ることを条件にしました。僕たちの試算では、1農家が年間育てられるイチゴの生産量は概ね平均2000キロ、キロ300ルピーで買い取りますから、1農家の収入は年間60万ルピーになります。それは家族5人を養うに足る収入となります。

次に、買い取ったイチゴを各国大使館、ホテル、スーパーなど、カトマンズ市中に売りに行きました。高品質なイチゴは、僕たちの想像以上に売れました。売れたイチゴから出る利益は、すべて新しいイチゴの苗の買い取り資金に充て、その買った苗をまた新しい農家に無償で配る。それを繰り返し、このプロジェクトを開始した2015年10月から3年間で、60を超える契約農家に増えました。1農家5人の雇用だとして300人分の仕事につながりました。スーツケース2つ分の苗が、わずか3年後に300人の仕事につながったのです。このようなプロジェクトを、仕事を必要としている地域や国に広げていきたいと考えています。

2018年8月。More Jobs Better Lives財団、活動の目的そのままを財団名に掲げました。

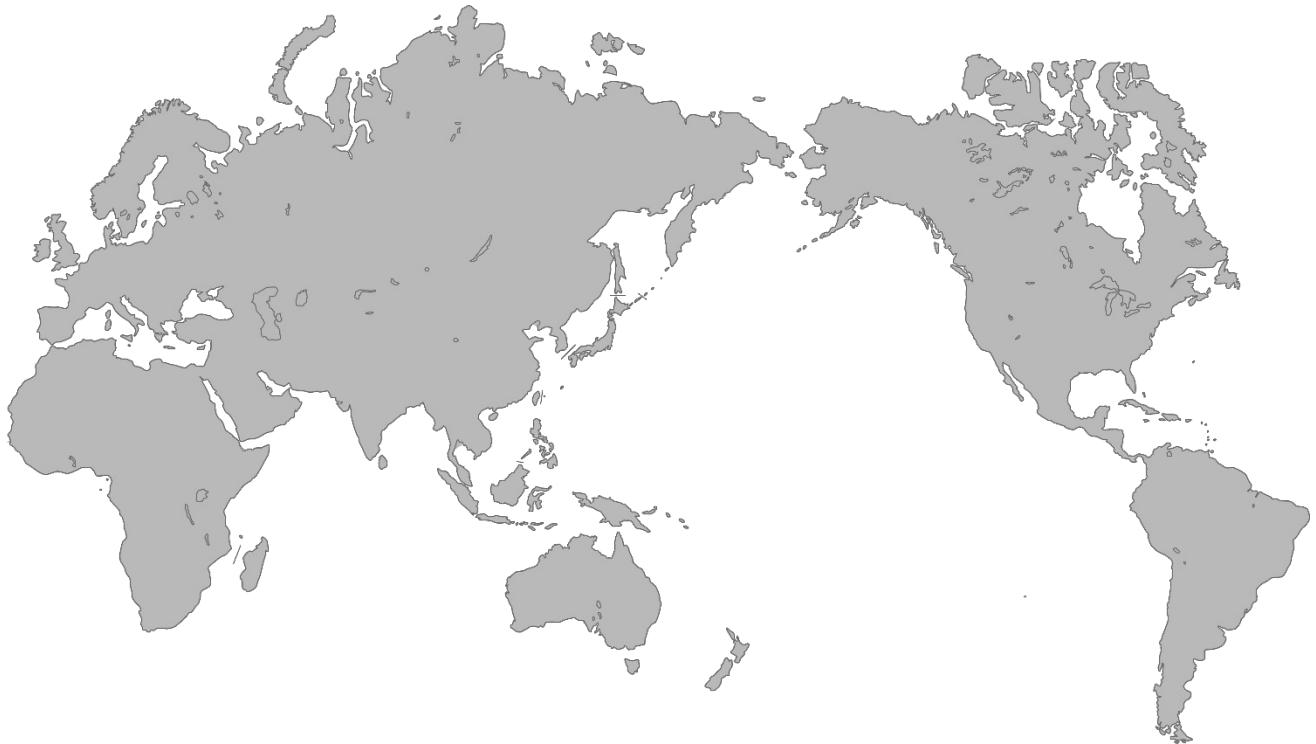
いま世界の失業者は2億人を超えます。僕たちにできることを、一つひとつ時間をかけて真剣に取り組み、目の前にいる人や、起きていることに感情移入しながら、その活動範囲を広げていきたいと思います。

代表理事 若山陽一

# Mission

# More Jobs Better Lives

より多くの仕事で、より良い人生を



## Summit

### 世界で100万人の雇用創出

～開発途上にある海外の地域～

## 事業分野

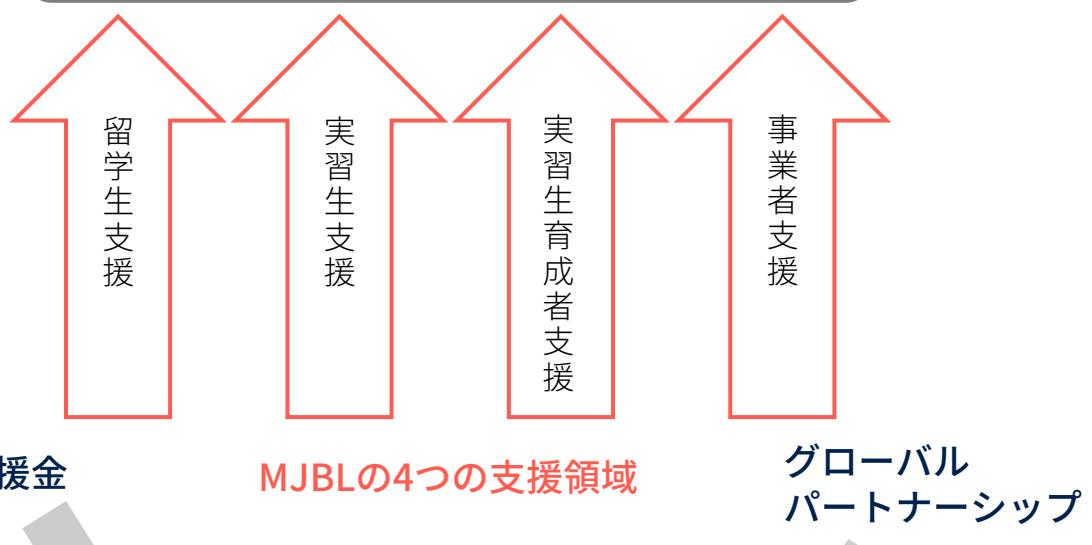
仕事創造 ／ 雇用創出 ／ 人材育成

### 事業概要

雇用と仕事の機会づくりを通して  
生産的な仕事と安定収入をもとに豊かに暮らす人々が増え  
世界中の地域が活性化されている未来



知識とスキルを持つリーダー  
安全かつ効果的な非営利団体  
ソーシャルビジネス



仕事  
創造

雇用  
創出

人材  
育成

## MJBLの「事業」

# 外国人留学生 支援事業

## 留学生プロフィール

	1期生			2期生
				
氏名	Sara Tokhi Arab	Arifa Jannat	Issa Abrahaman Kachenje	Yllah Okin Kang
カナ	サラ・トキ・アラブ	アリファ・ジャナ	イサ・アブラハマニ・カチャーンジヤ	イラ・オキン・カング
出身国	アフガニスタン	バングラディシュ	タンザニア	コンゴ民主共和国
研究テーマ	干ばつと降雪による鉄砲水のダメージを受けているブドウ農家を支えるための地理空間保護モデルの改善	社会課題「飢餓をゼロに」、気候変動が非穀物食物に与える影響、農家の収入に与える影響	タンザニアの主要輸出換金作物である茶産業における小規模茶農家の経済成長、貢献度拡大への策	首都キンシャサ市におけるプラスチック廃棄物の環境、健康、経済、社会への影響の評価



母国の社会課題に解決に向けた研究を行うため日本を選び、留学生として来日しております。奨学金の支援と併せて、母国の課題解決のために必要な人材交流など、留学生一人ひとりと連携し、MJBLのミッションの達成に向けて活動しております。

## 支援概要

- 毎月のレポート提出：研究の進捗状況、私生活相談
- 半期1回：交流会
- 2回／月：MJBL担当者によるコミュニケーション連絡
- ネットワーク構築：日本国内、母国の法人または個人との連携のための打合せ
- 外部メディアとの接続

## MJBLの「事業」

### 外国人留学生 支援事業

#### ● 外部メディアとの接続



<外部リンク>

・公正な価格で流通する農協の仕組みを取り入れたい

～MJBL財団留学生 アリファ・ジャナさん（バングラデシュ）～

・衛星による気候分析で母国に貢献したい

～MJBL財団留学生 サラ・トキ・アラブさん（アフガニスタン）～

#### ● ネットワーク構築



例1 イサさん：現地でツーリズム事業を準備中

→JICAタンザニア事務所

→パーマカルチャー専門家・農業技術支援団体@タンザニア



例2 イラさん：環境保護団体でインターン希望

→日本国内のベンチャー企業にてアルバイトとして採用決定



例3 ジャナさん：他大学の教授に協力を依頼したい

→MJBL選考委員長 下嶋聖先生（東京農業大学）へ依頼

#### ● 交流会の実施

・2022/4/1 オンライン交流会にて  
各自の研究・近況報告



・2022/8/25 都内レストランにて  
ランチ交流会を開催



## 外国人留学生 支援事業

### 第3回公募の実施

コロナ感染症の影響があり留学生の来日がスムーズに進んでいない現状がありました。公募の仕組みは1年に1回を基本としておりますが、コロナ感染症の影響、第2回の公募で最終選出者が0名になりましたことを考慮いたしまして、第3回公募を実施いたしました。

- ・公募期間：2021年4月1日～4月30日
- ・支援開始：2021年10月～
- ・応募総数：22名 →最終選出者：1名（イラ・オキン・カング氏）

～応募があった国籍～

バングラディシュ、ネパール、カンボジア、ミャンマー、ニジェール、コンゴ  
イエメン、ウガンダ、パキスタン、ベトナム、モンゴル、タイ、中国、ナイジェリア  
韓国（順不同、DAC以外も含む）

### 奨学金支給期間

- ・奨学金給付期間の原則：支援開始月から各人の修了月まで。複数年になる人もいます。

### 支援への協力依頼

各国の情勢が様々ですが、アフガニスタン、バングラディシュ、タンザニア、コンゴ民主共和国の出身者を支援しております。技術協力、連携、研究など気になることがございましたら、ぜひとも、MJBL事務局までご連絡ください。

# 外国人技能実習生 支援事業

## 新型コロナウイルス感染症「COVID-19」の影響

出入国制限、ビザ発給の一時停止などを経て、入国時期が当初の予定より約2年延期しましたが、無事入国、受け入れ農家での実習がスタートいたしました。

- ・当初の来日予定時期：2020年4月
- ・男性2名5月、女性2名7月に各受入農家へ配属済み

### 実習生プロフィール

NO	Name／国籍	Photo
1	Dinesh Lama ディネス ラマ ネパール	
2	Ram Bahadur Tamang Syangtan ラム バハドゥール タマン シヤンタン ネパール	
3	Shahansila Zimba Lama シャハンシラ ジンバ ラマ ネパール	
4	Shubhalaxmi Rumba シュバラクシミ ルンバ ネパール	

### ●現地スタッフによるフォローアップ

MJBLでは、実習生4名が日本で生活中も、ネパール駐在スタッフ勝手によるフォローアップを行い、コミュニケーションの継続を図っています。  
 今後はさらに、ネパールへの技術移転と上記4名のリーダーシップ育成に向けて、現地スタッフとともに検討してまいります。

## 外国人技能実習生 支援事業

### ●各農家に配属された実習生達を訪問：2022年5月～10月

ネパール人実習生は、夏場の閑散期を利用して、日本語能力検定 N4 レベルの取得を目指して学習し、冬場の繁忙期に備えています。

インド人実習生のサポートは、熊本県庁国際交流課/JICA 熊本と共に考案しております。



### ●熊本県で実習中のインド人実習生が樺島県知事を表敬訪問：2022年7月

実習生のヨゲンドラさん、ポパットさんとともに、通訳なしの日本語で蒲島知事と対話し、熊本県初のインド人実習生として、ニュースにも取り上げられました。

(ニュース記事はこちらからご覧ください：[NHK 熊本放送局・熊本県農業法人協会](#))



## 外国人技能実習生 支援事業

### 新型コロナウイルス感染症「COVID-19」の影響

出入国制限、ビザ発給の一時停止などを経て、入国情期が当初の予定より約1年半延期しましたが、無事入国、受け入れ農家での実習がスタートいたしました。

- ・当初来日予定期間：2021年8月
- ・2022年5月に受入農家へ配属済み

#### ●インド人実習生の支援開始

NO	Name／国籍	Photo	志望動機／略歴
1	Singh Yogendra Pratap シン・ヨゲンドラ・プラタップ インド		現在、サカタの種を利用して農業をしています。日本の農業技術を取り入れたいです。 職歴：農業 栽培作物：キャベツ、トマト、ピーマン、ブロッコリー、じゃがいも、麦
2	Shirsat Popat Shahadev スリサット・ポパット・シャハディウ インド		日本で農業技術を学んで、自分の畑に導入したいです。 職歴：農業 栽培作物：さとうきび、ターメリック、大豆、麦

## MJBLの「事業」

# 外国人技能実習生 受入農家支援事業

## 新型コロナウイルス感染症「COVID-19」の影響

入国規制に伴い待機が続いているのですが、住環境整備など実習生の入国準備を着々と進めて下さっています。一時的に直接のご訪問は避け、定期的な電話連絡などを行っています。

### 受入農家様プロフィール

対象 実習生	ネパール		インド
			
氏名 (法人名)	岡里勝己	鈴木啓介 (株式会社鈴木いちご農園)	高本昌揮 (株式会社鷹本農産)
所在地	茨城県行方市	栃木県宇都宮市	熊本県玉名市
栽培作物	いちご		ミニトマト、米

### 高本さん訪問（2021年11月）

インド人技能実習生が学ぶ圃場となるミニトマトのハウスを案内して頂きました。



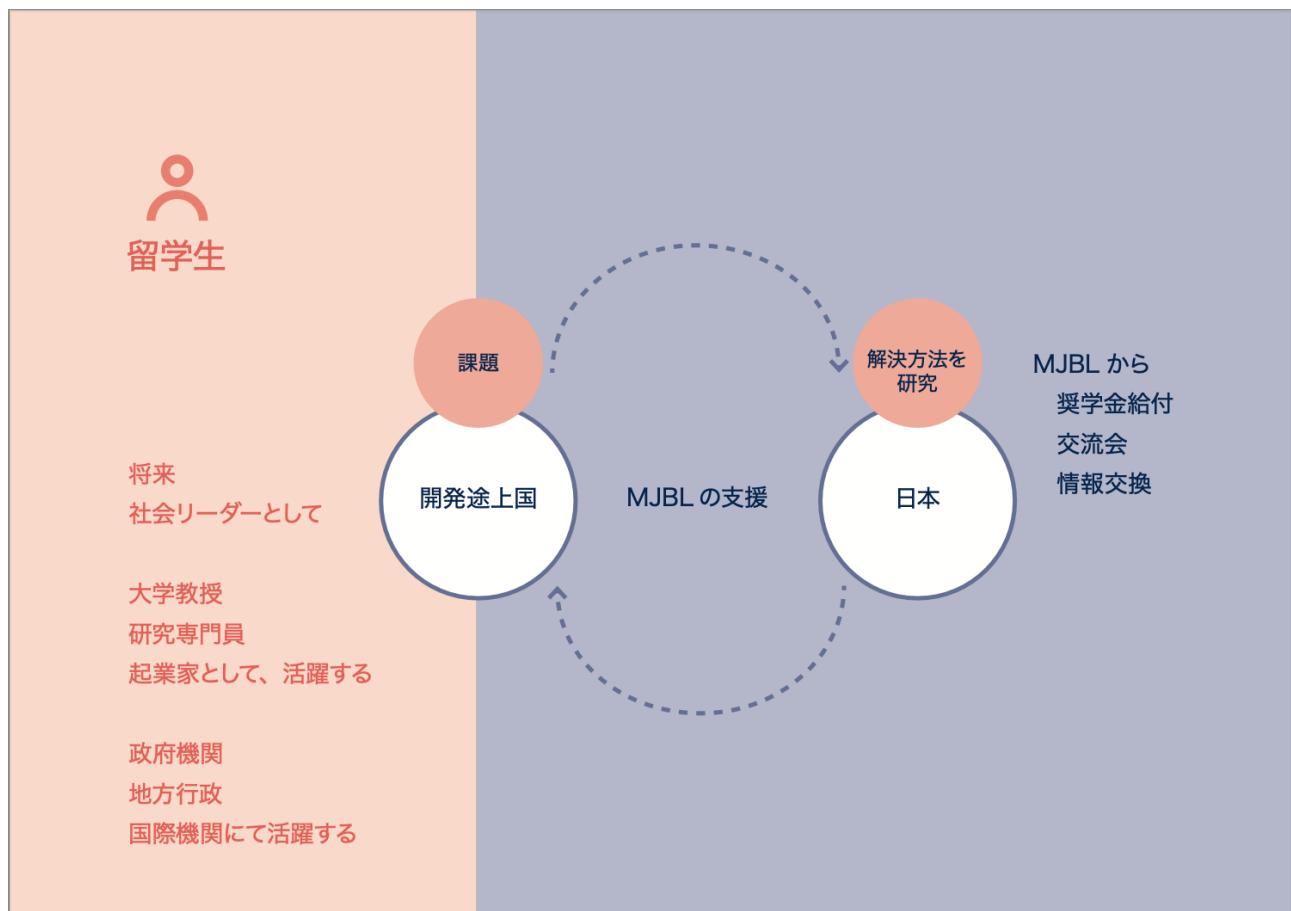
## 外国人留学生支援事業の仕組み

私費留学で来日し経済的支援を必要としMJBL財団の目的である「母国の生活水準の向上」に繋がる活躍が期待できる留学生に対し奨学金を給付し、現在の「学び」「研究」を支援し、母国 の発展に寄与する。

### 実績

国名	人数
アフガニスタン	1
バングラディシュ	1
タンザニア	1
コンゴ民主共和国	1

### 事業図



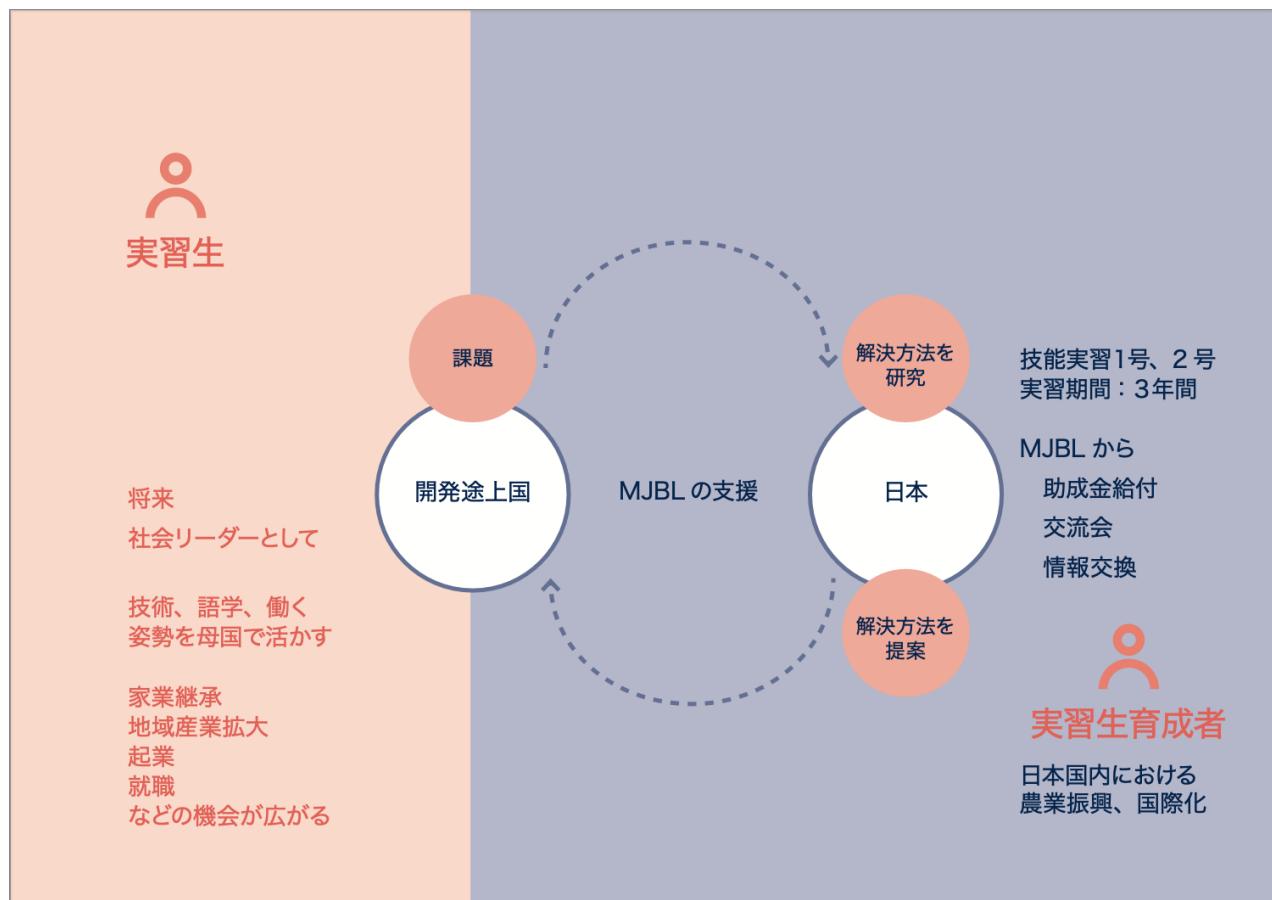
## 外国人技能実習生支援事業の仕組み

外国人技能実習制度を活用して日本で技能や技術を学び、MJBL財団の目的である「母国の生活水準の向上」に寄与することが期待できる実習生に対して助成金を給付し、日本での生活を支援し、母国の発展に寄与する。

### 実績

国名	人数
ネパール	4
インド	3

### 事業図



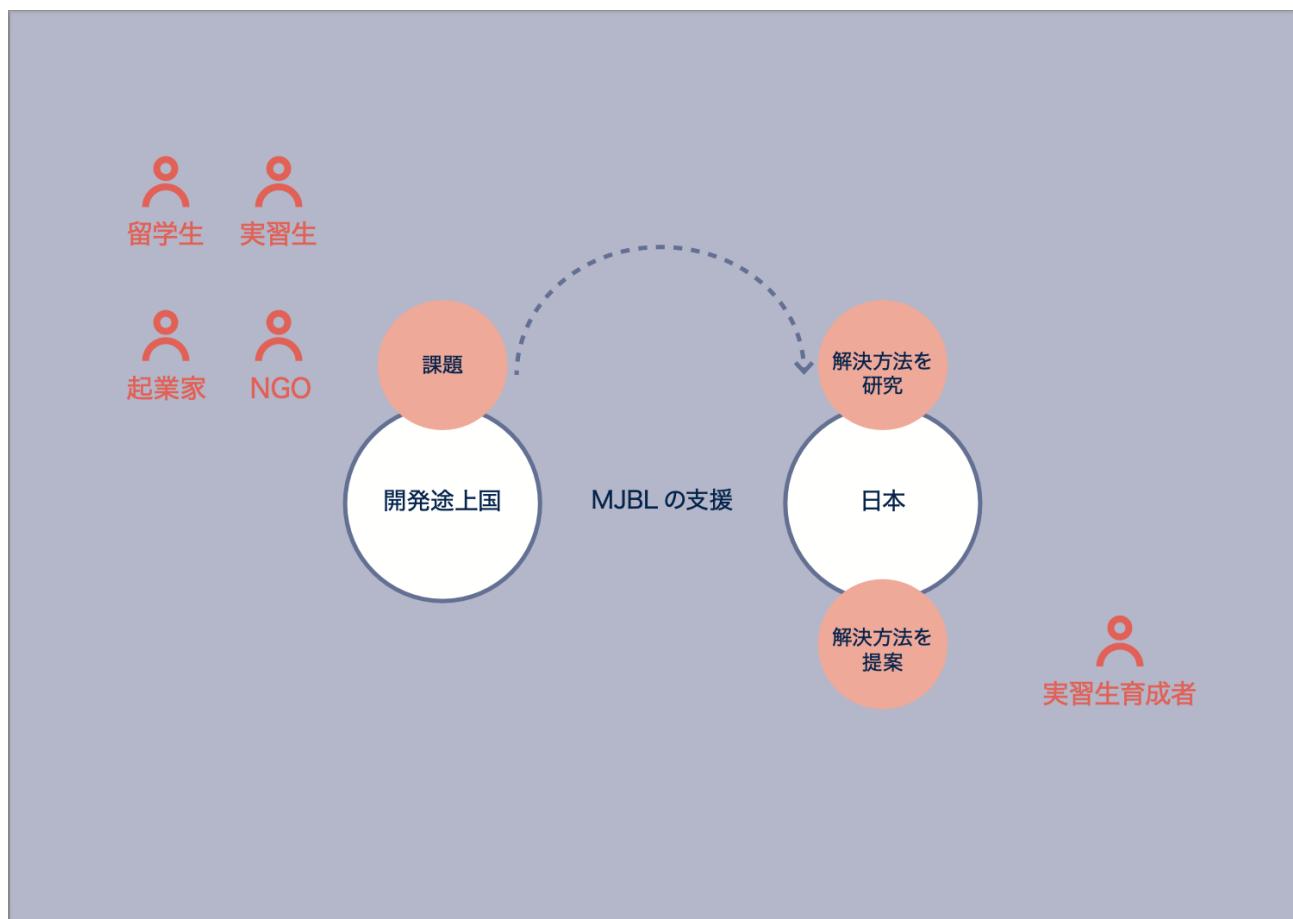
## 外国人技能実習生受入農家 支援事業の仕組み

MJBL財団と協力・連携し外国人技能実習生を受入れる実習実施先に対し助成金を給付する。そして、人材育成の場所である実習実施先を広げることによってMJBL財団の目的である「開発途上国の生活水準の向上」に寄与する。

### 実績

都道府県	実習 実施先	対象実習生	
		国名	人数
茨城県	1	ネパール	2
栃木県	1	ネパール	2
熊本県	1	インド	3

### 事業図



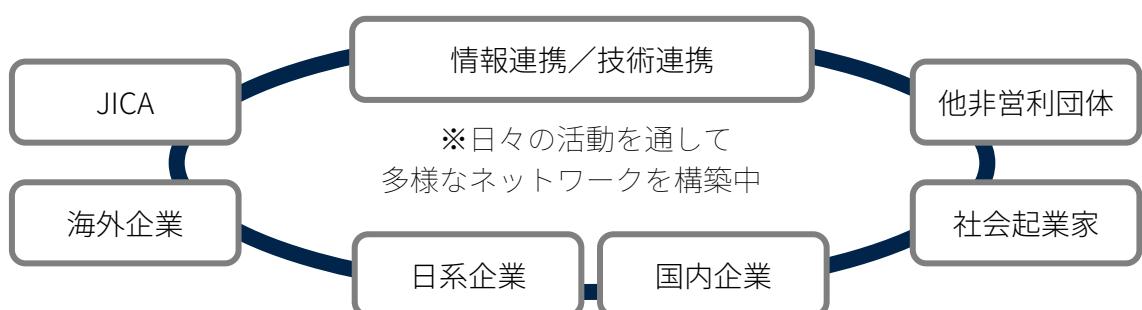
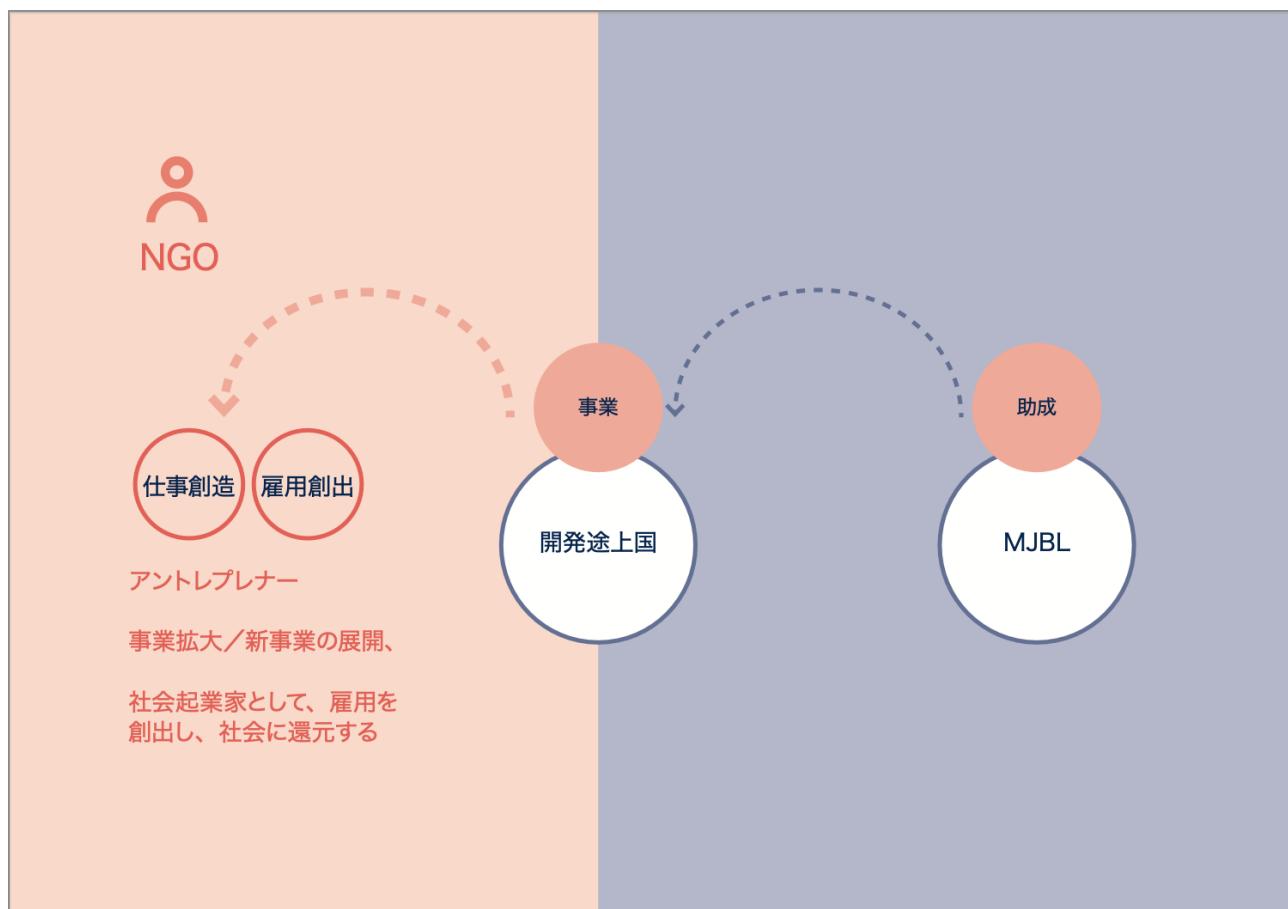
## 事業：事業者支援 NGO助成事業

※公益事業認定取得（2021年6月25日）

### 予定

対象国：ネパール 公募期間：2023年1月～3月 選考期間：4～5月 助成金支給開始：6月

### 事業図



## これまでのあゆみ

沿革	主な出来事
2018年8月	一般財団法人設立
2020年2月	公益認定取得 → 公益財団法人へ
2021年6月	事業者貸付、事業者助成 新公益事業追加
2021年7月	留学生 1人 選出
2022年4月	インド実習生3人 入国
2022年5月	ネパール実習生2人 入国
2022年6月	ネパール実習生2人 入国



留学生 支援	数
タンザニア	1
アフガニスタン	1
バングラディッシュ	1
コンゴ民主共和国	1

実習生 支援	数
ネパール	4
インド	2

受入農家支援	数
茨城県	1
栃木県	1
熊本県	1

## MJBLの「法人概要」

### 法人概要

名 称	More Jobs Better Lives 公益財団法人（※略称：MJBL）
住 所	東京都渋谷区道玄坂1-12-1 渋谷マークシティW16階
設 立 日	2018年8月1日（※公益認定日 2020年2月5日） ※決算期 7月
代表理事	若山 陽一
TEL / Email	03-4500-8610 ／ info@mjblfoundation.org
U R L	<a href="https://www.mjblfoundation.org">https://www.mjblfoundation.org</a>
目 的 mission	More Jobs Better Lives
事業分野 project	仕事創造 ／ 雇用創出 ／ 人材育成
公益目的事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人留学生 支援事業</li> <li>・外国人技能実習生 支援事業</li> <li>・外国人技能実習生 受入農家支援事業</li> <li>・事業者に対する資金貸付事業</li> <li>・事業者に対する助成金の給付事業</li> </ul>

役 員	氏 名	主なプロフィール	(※順不動)
代表理事	若山 陽一	UTグループ㈱ 代表取締役社長 兼 CEO	
理 事	竹内 洋岳	プロ登山家 立正大学客員教授 (株)ハニーコミュニケーションズ所属	
理 事	小柴 正浩	ユナイテッド・マネージャーズ・ジャパン(株) 代表取締役社長	
監 事	浅野 恵理	辻・本郷税理士法人 シニアパートナー 税理士	
評議員	本郷 孔洋	辻・本郷税理士法人 代表社員	
評議員	岡芹 健夫	高井・岡芹法律事務所 所長弁護士	
評議員	高谷 裕介	祝田法律事務所 パートナー弁護士	

選考委員	氏 名	主なプロフィール
委員長	下嶋 聖	東京農業大学 地域環境科学部 地域創成科学科 准教授
委 員	伊藤 信一	社会保険労務士法人 伊藤事務所 社会保険労務士
委 員	山崎 和幸	山崎園芸 代表
委 員	竹内 洋岳	プロ登山家 立正大学客員教授 (株)ハニーコミュニケーションズ所属
委 員	若山 陽一	UTグループ㈱ 代表取締役社長 兼 CEO

事務局	氏 名	主なプロフィール
スタッフ	山辺 由梨乃	MJBL職員
スタッフ	勝手 成男	MJBLネパール駐在員

## 最後に

地球全体の人口は約77億人、15歳以上の労働年齢人口は約57億人、世界中で雇用された人は約33億人、労働力ではない人は約23億人、失業者が約2億。そして、貧困労働や仕事と言えない仕事など世界中で約20億人の労働者が非公式に雇用されており、世界の労働力の61%を占めています。

(世界の雇用及び社会の見通し2020年版：ILO)

More Jobs Better Livesをミッションステートメントとして、貧困労働や失業など世界中（開発途上国）で仕事が必要なところに直接及び間接的に仕事創造／雇用創出に資する支援活動を行い、生活水準の向上に寄与することを目的として、仕事創造、雇用創出、人材育成の事業活動を実施しております。その第一歩として、外国人留学生支援事業、外国人技能実習生支援事業、外国人技能実習生の受入農家支援事業を開設し、これから時代を担うリーダーの人材育成、日本の技術技能の伝承、専門分野の人材育成を実施しております。そして、新事業として事業者を支援する事業活動を加え、より大きな雇用創出を目指しています。

事業活動に関して、新型コロナウイルス感染症による渡航制限など非常に大きく影響を受けておりますが、少しづつでも前へ歩んで参ります。

私たちの活動はまだまだ小さいですが、雇用を通して生活水準が向上する共通価値感をお持ちの方々、「寄付」「技術協力」「情報提供」など、引き続きご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

# 年次報告書 2022



お問合せ先  
More Jobs Better Lives 公益財団法人 事務局宛  
〒141-0022 東京都品川区東五反田1-11-15 電波ビル6F  
TEL: 03-4500-8610  
E-mail: [info@mjblfoundation.org](mailto:info@mjblfoundation.org)